

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の一世代として、地域に溶け込んだ日常がある。地域高齢者がそこで暮らすように、ホームの利用者も同じ暮らしを実現している。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	制度に則った会議開催があり、本来目的に沿った運営がある。今後は報告・検討会に留まることなく、ホームの日常・実際の見学、様々な体験を通して、さらにグループホームおよび認知症高齢者理解を啓蒙する場として活用して行く熱意がある。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	適切な連携があり、法人代表は、保険者からの様々な依頼（認知症サポーター研修・介護従事者研修等の講師など）に応じ、地域福祉の要としての役割を果たしている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	ホーム独自の継続的取り組みである、利用者の思いを記録する「みんなの声」のノートに、利用者の意見・要望・希望を分かりやすく記載し、協議・検討の上、個人介護計画およびホーム運営に反映させている。家族に対しては、直接の意見・希望の聴き取りに努め、迅速に対応している。今回家族アンケートでも、ホーム支援に対する家族の満足度は高い事が確認できる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

どの項目についても基準以上の取り組みがあり、成果の確認もできる。地域密着型サービス事業者として、模範ともなる熱心な取り組みを高く評価したい。
--

1 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。